

## 令和7年度 学校教育自己診断の結果と分析

### 【生徒対象】

- 殆どの設問について、昨年度からの増減が8%以内となっており明確な変化はない。
  - 7%を超える増減があった設問と肯定率は次の2点。  
問4「りんくう翔南高校では服装や頭髪の指導がきちんとされている」31.1%減の57.2%、問14「地震・火災などの災害の時の避難経路を具体的に教えてもらっている」14.2%増の45.8%となっている。
  - 肯定率が50%を下回る設問は問17「自分は授業や部活動で地域の人や近隣の学校と関わる機会が多い」が0.1%減45.8%となっている。
- ◆特に問4で肯定率が著しく減っており、多くの生徒が生徒心得等で定められている身だしなみのルールと実態が乖離していると捉えていることがわかる。

【保護者対象】プリント配付、一斉送信システムで複数回にわたり回答を求めたが0.9%の増加に留まった。

- 殆どの設問について、昨年度からの増減が8%以内となっている。
  - 問3「子どもは授業に集中して取り組んでいるようだ」は12.1%減の61.9%で学年別にみると、
    - 1年は0.3%減
    - 2年は21.4%減
    - 3年は14.2%減と、例年であれば学年が進行すると肯定率が増加する傾向とは異なっている。
- ◆生徒の多様化を保護者も把握できていることが反映された結果と判断する。
- 肯定的な回答が50%を下回っている設問は次の通り。  
問12「りんくう翔南高校のクラブ活動は活発であると思う」47.6%  
問17「子どもは学校で、授業や部活動で地域の人と関わる機会があるようだ」20.2%、問20「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」27.4%
- ◆何れも、今後、本校を活性化するために欠かすことができない保護者との連携や、地域との交流が十分に行えていないことを保護者が正確に捉えていることがわかる。

**【教員対象】**

●昨年度から 20%以上の増減がある設問は次の通り。

問 2 「生徒はあなたの授業を理解している」 21%増の  
85.3%

問 15 「この学校は、教室や運動場など授業等の活動がしや  
すいように整備されている」 20.8%減の 47.1%

問 20 「自分は、PTA 活動に積極的に参加している」 21%  
増の 35.3%

◆生徒対象の問 2 「学校授業はわかりやすい」は近年の肯定率  
が 70%台後半で推移している一方、教員が「生徒はあなたの  
授業を理解している」の肯定率は 60%台前半で推移してい  
た。

多くの教員が生徒の多様化を認知し、教科用図書の変更や、  
講義内容の工夫したことが反映されたと判断する。

◆一方、1人1台端末が多様化する生徒の個々のスペシャルニ  
ーズに対応するための有効なツールであることは多くの教員  
が認識できているが、導入が停滞し、整備されている施設・  
設備を十分に活用できていない状況が問 15 「この学校は、教  
室や運動場など授業等の活動がしやすいように整備されてい  
る」の肯定率の減少に反映されている。今年度は、後半期よ  
り遠隔授業や通信による授業も始まっているため全ての教員  
が ICT 機器を授業に活用できるスキルの習得が急務。